

九州 2 学年 修学旅行 長崎 熊本、福岡3泊4日の旅

12月14日(火)~12月17日(金)

理数科2年 大原 さくら / 木曾町中卒

新型コロナウイルスによる中止も心配される中、自由行動を控える形で私達の修学旅行は行われました。被爆された方の講話を聞き、今までアバウトであった戦争の恐ろしさと平和を深く考えるきっかけとなった長崎。歴史の跡に被害を残した震災を目で見て学ぶことができた熊本。「楽しかった」の一言では片付けられないほど多くのことを学ぶ事ができた4日間でした。



2 年 理数科

理数科1月22日(土) 森林環境科・インテリア科1月26日(水)

3 年 森林環境科・インテリア科 課題研究発表会

課題研究は1年を通じて1つのテーマをグループや個人で研究しています。先輩方が行ってきた課題研究を引き継いだものや、全く新しい課題など様々なことに挑戦することで、モノの見方を学び課題を発見し解決していく力を身に付けることを目標としています。

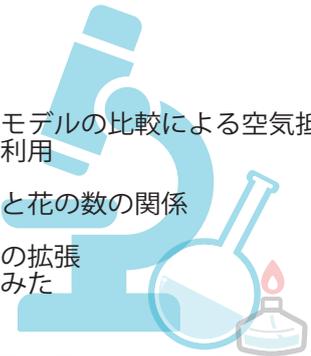
理数科1年 榎原 日向 / 木曾町中卒

先日、私たち1学年理数科は2年生が行った理数科課題研究発表会を聴きました。先輩方の課題研究は、研究内容の芯が全て見え、それに肉付けされた根拠、考察がありました。そのため頭の中で話を整理することができ、大変聞きやすかったです。

来年はついに私たちの番となりますが、今年先輩方から学んだことを生かしていきたいです。

【理数科 課題研究テーマ】

1. 摩擦係数と模様の関係
2. 放物運動の実測値と抵抗モデルの比較による空気抵抗の推定
3. フィトンチッドと廃材の利用
4. キク科植物の抗菌作用
5. ネジバナの花序のねじれと花の数の関係
6. 粘菌に適した環境
7. 平面図形の定理の空間への拡張
8. 音楽を数学的に分析してみた
9. 英語版木曾町 HP の作成



森林環境科2年 赤羽 大夢 / 木曾町中卒

1月26日に行われた課題研究発表会では研究テーマごと9つのグループに分かれた先輩達の発表をお聞きしました。どの研究も興味を惹かれるものばかりで、来年取り組む私達にとって研究テーマの参考になりました。来年は私達の番なので、先輩達が研究されてきたことを引き継ぐと同時に、後輩達にも繋がるような課題研究にしていきたいと思いました。

【森林環境 課題研究テーマ】

1. 青峰里山プロジェクト～里山の再生と利用～
2. 木曾の樹木と栽培した花を使ったスワッグ製作
3. 水耕栽培ですんきを作ろう
4. 赤外線センサーカメラを使用した演習林の野生動物生態調査
5. 「ウディークラフト」
6. 木の種類によって燻製の味や香りが変わるのか
7. ロケットストーブの製作
8. ハーブの栽培と利用
9. 演習林でのモノレールの延長 PART 9



私は、今2年生で木工を中心としたプロダクトコースを専攻しています。今日見た課題研究発表会での先輩達の発表は、どれも素晴らしく、1つ上の先輩とは思えないほどのクオリティが高い木工作品も多かった。それだけではなく地域の企業や公共機関と連携して社会貢献もできていた所が凄くと思いました。私も来年度は3年生らしい良い作品が製作出来るように、もっと技術を磨きたいと思っています。

1. 木曾幼稚園・日義保育園交流
2. 木曾川上下流交流
名古屋市科学館との連携プロジェクト～知育玩具の開発～
3. 災害時、椅子に変形できる誘導看板
4. ペットボトルラベルデザイン「GIFT」
5. 木曾町連携事業 園章デザイン
6. 学校環境整備事業



2月11日(金)

インテリア科展開催しました

ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

インテリア科展は1年間の学習成果を発表する場所です。プロダクトコースはテーブル、キャビネット、スツール、小物などの木工家具の展示、デザインコースは3年生の卒業制作を中心にパンフレットやコサージュ、建築模型などを展示しました。その他に家具製図や段ボールで作った看板なども展示しました。

今年はコロナウイルスの関係でインテリア科の保護者の方のみとなりましたが無事開催することができました。



各種表彰

インテリア科2年

防火ポスター



金賞 菊池 彩乃 / 大桑中卒



銀賞 丸山 彩心 / 木曾町中卒

インテリア科2年

献血ポスター



最優秀賞 平井 美羽 / 木祖中卒



佳作 下出 桜 / 王滝中卒



佳作 水本 くるみ / 上松中卒

インテリア科2年

明るい選挙啓発ポスター



3等 古澤 心 / 上松中卒

インテリア科3年

園章デザイン



日義こども園 三岳こども園
平田 蓮 / 大桑中卒



開田こども園 木曾こども園
近江谷 子龍 / 木曾町中卒 加藤 祥次 / 上松中卒

新年度に開園する木曾町の認定子ども園の園章デザインをインテリア科3年生3名がデザインしました。



講師：花井 嘉男先生



木曾ヒノキ

定時制普通科

木曾の歴史を知る信州学

定時制では、1月14日に花井嘉夫先生(本校で理科の先生として教壇に立ち、全定の教頭先生もされていた)を講師にお招きし、信州学の講演会を開催しました。木曾のヒノキの歴史を学び、現代の木曾の課題を考える内容でしたが、途中、ヒノキを手折り、香りを楽しんだり、葉を観察したり、五感を使った学びとなりました。生徒からは、「木曾ヒノキを通じて、木曾の歴史を深く知ることができ、とても楽しい授業でした。木曾川に木を流して名古屋まで運んだとは知りませんでした。山と川といろいろな自然に恵まれた歴史ある土地だったんだなあと改めて考えさせられました。」「山林の占める割合が95%と聞いて、『木曾路はすべて山の中である』という言葉を実感しました。木曾ヒノキ、または木曾五木の魅力に、県内外の人がたくさん気づいてくれたら嬉しいと思いました。」という感想が寄せられました。